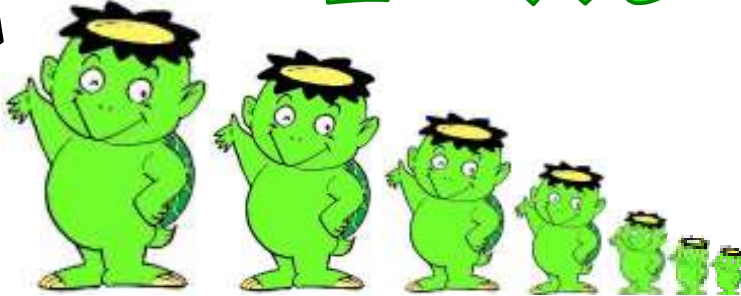


くるめクリーンパートナー 第11号 ニュースレター



発行：久留米市環境政策推進課
発行日：平成19年3月

～ はじめに ～

寒さもようやくやわらぎ、春の季節がやってきました。会員の皆さんにおかれましては、日頃より地域の環境美化に努めていただき、ありがとうございます。

さて、「くるめクリーンパートナー」事業が始まって5年目となる今年度も間もなく終わろうとしておりますが、2月末までに、259の団体・個人が登録され、その人数は9,689人になりました。

登録者数1万人突破目前の久留米市のペースは全国的にも例のないことで、事務局一同とてもうれしく思っています。

これからも本市の美しい風景や美しい街並みを守っていくために、会員の皆さんを始め、市民の皆さんと協力しながら環境美化に努めていきたいと考えています。事務局一同新たな気持ちで頑張りますので、皆さんもこれまでどおりのご協力をお願いいたします。

☆活動報告の時期です！☆

「くるめクリーンパートナー」事業は、毎年4月から3月までの年度ごとに活動を集約していますが、今年度も皆さんの1年間の活動実績を報告してもらう時期がやってまいりました。

1年間の活動を振り返って、その活動の実績とともに、活動に際して工夫されたこと、苦労されたこと、市への要望など色々なご意見を聞かせていただき、来年度以降の活動につなげたいと考えています。



提出してもらった活動報告書については、次の記入要領を一読の上記入いただき、同封の返信用封筒で**4月6日(金)**までに事務局あてにご返送ください。

☆ 活動報告書の記入要領について

この書類は、皆さん全員から必ず提出していただく必要のある書類です。以下、項目ごとに記入方法を説明します。

①日付

活動報告書を記入した日付を記入してください。

②氏名又は団体の名称・住所又は団体の所在地

登録しているものをご記入ください。ただし、団体名や住所に**変更がある場合には、新しいものを記入**してください。

③活動区域

1年間の活動区域を簡潔に記入してください。**当初届出時**(合意書に添付している活動範囲を明示した地図)**と変更がある場合には、その旨を記入**してください。

④活動内容

A 活動回数

月ごとに何回活動したかを記入、その合計数を年間の欄に記入してください。なお、3月中に提出する場合、**3月分については、活動予定回数で記入**してください。もし提出後に回数に増減があった際には、後日事務局まで連絡してください。また、今年度に登録した人は登録後の活動回数を記入してください。

B 1回当たりの活動者数

1回の活動人数を記入してください。回毎にばらつきがある場合には、平均の数字(概ねで結構です。)を記入してください。

C ボランティアごみ袋使用枚数

1年間に使用しおおよその枚数を記入してください。活動される際にペットボトルや缶・ビン等資源物の回収に使用した枚数も含めてください。

⑤意見・要望等

活動に際しての意見や感想、届出の内容に変更がある旨や市に対しての要望等、忌憚のない意見を自由に記入してください。また、消耗や破損、活動者数の増加等で、軍

手、帽子、ほうき、ごみ袋等の**清掃用具に不足が生じている場合は、必要な物と必要な数を記入**してください(後日お届けします。)。なお、この欄に入りきれない場合は、別用紙若しくは裏面を利用してください。

⑥その他

代表者に変更がある場合は、「意見・要望欄」に**新代表者の氏名、住所、電話番号等の連絡先を記入**してください。

また、活動区域が当初合意締結時と変更している場合は、後日改めて活動区域を確認させていただきます。場合によっては、合意書の差し替えの必要が生じますので、お手元にある**「合意書」(クリーム色の厚紙)に添付してある活動区域図**(地図上に赤で活動区域を表示したもの)**をもう一度確認の上、「活動区域が拡大(縮小、変更)している」旨を記入**してください。

以上記入要領について説明しましたが、不明な点がありましたら、事務局までお気軽に問い合わせてください。

なお、この報告書の内容を基に、集計結果の報告を皆さんへ行きます。事務局の集計作業もありますので、前述とおり、**4月6日(金)までに**郵送してください。

なお、今回の活動報告書は、「一時休止中」の人にも送付しています。体調その他の理由で**活動を辞退したい人は、別の届けが必要です。個別に連絡**いただくか、**活動報告書にその旨を記入**してください。

☆☆☆ 皆さんの活動を紹介します！ ☆☆☆

今回のニュースレターでは、学校での活動を皆さんに紹介します。なお、「私たちの活動も紹介してほしい」というような団体、個人がございましたら、事務局まで連絡してください。

【**県立浮羽工業高等学校EGクラブ(平成18年1月登録)**】

田主丸町にある浮羽工業高等学校EGクラブは、クラブ活動として主に清掃ボランティアを行っており、併せて、交通整理のボランティアも行っています。EGとはアース・ガード（地球を守る）だそうです。当日は、顧問の先生と生徒たちがで一緒になり川の中のごみを拾うための手作りのごみ取り棒を用意しながら収集活動をしていました。部長の長谷部君は、「清掃活動で、地域をゆっくりみれる機会となって勉強になる」「ごくろうさまなどの言葉かけがうれしい」と話しました。普段の活動時間は1時間半ということですが、取材当日は活動範囲を広げたとのことで、2時間を超える活動でした。収集後の分別作業も、空き缶は小さく潰して出すなど、時間をかけ丁寧に行っていました。「活動場所である通学路は活動の成果が表れており、ポイ捨てごみも少なくなっている。」しかし、「民地の空き地にポイ捨てごみが散乱しているのが目に付く。」と話しました。



【**久留米学園高等学校野球部(平成18年6月登録)**】



東町にある久留米学園高等学校の野球部員のクリーンパートナー活動は、毎日、朝の7時50分から約30分間、天神公園及び学校周辺道路を部員全員で行っており、平成17年に福岡県警察署少年補導連絡協議会、平成18年にくるめ「小さな親切」運動の会より表彰を受けています。部員の

みなさんからは、「公園をキレイになったのを見たらすごく気持ちいい」「おつかれさま、ありがとうの声がうれしい」と言った声がある反面、「毎日活動しているが、特にたばこの吸い殻は全く減らないと悩みも多いようでした。



【福岡県公立三井中央高等学校(平成18年6月登録)】

北野町にある三井中央高等学校。平成13年に「それいけボランティア隊」を結成し、2週間に1度の活動で、全校集会時等に呼びかけを行い、集まったメンバーで放課後約1時間かけて清掃活動を行っています。

また、年に2回、1・2年生全員による清掃ボランティア活動、3年生は交流ボランティアを行っており、18年度に「久留米市顕彰表彰」を受けています。

当日は、日頃の活動の成果が表れたためか、ポイ捨てごみはあまりありませんでした。とても良いことにも関わらず、「ごみが少なすぎてやりがいがありません」と、嘆く生徒がいたくらいでした。



高等学校では紹介した3校がグリーンパートナーに登録しています。3校に共通している点は、生徒が利用する通学路を自らの手でキレイにしようというところでした。野球部員として活動する久留米学園の生徒たち、ボランティアを目的として活動する三井中央、浮羽工業の生徒たち。グリーンパートナーとして活動している姿は、皆さんとても頼もしく見えました！！これからも元気にがんばってください！！

【共生館福祉医療専門学校(平成18年3月登録)】

天神町にある共生館福祉医療学校は、月に1回、国道3号線を含む学校周辺道路を約20人のクラス毎に交代で清掃活動を行っています。

また、年に1回、西鉄久留米駅一帯から商店街を含む市都心部と、学校周辺から中央公園までの道路や公園を全校生徒で清掃しています。活動内容には、「挨拶」も入っており、清掃ボランティアを行いながら、「おはようございます」「こんにちは」の声かけを行っています。当日は、東町公園での活動を見させていただきましたが、生徒たちからは、「煙草の吸い殻がとても多い」「煙草の火がついたまま捨てることもあり危ない」「ガムの吐き捨ての片付けが大変」といった意見が出ましたが、挨拶を笑顔で返してくれたり、「おつかれさま」や「ありがとう」と言われたりすることが一番うれしいといった感想も出ていました。



【福岡南美容専門学校(平成18年5月登録)】

西町にある福岡南美容専門学校は、月1回、学校周辺と東町公園を約80人で清掃活動を行っています。1回の活動で約20袋分を収集しているそうです。生徒たちは活動中、近所の方に「ありがとう」と言ってもらえることがとてもうれしいと話しています。活動範囲には交通量が多い箇所があるため、充分注意しながらを活動しているということでした。



専門学校で登録している2校は共に「地域貢献」がテーマでした。共生館福祉医療専門学校では、取材を通じて、生徒たちの笑顔や挨拶に元気ももらいました。その活動は地域にとっても貢献していると思います。皆さんも共生館福祉医療専門学校の生徒の活動を見た際は一度声をかけてみてください！！

また、福岡南美容専門学校は、クラスの数が多く、範囲も広いため、1クラスと一緒に活動しました。生徒たちは、学校がある地域への恩返しのために活動していると元気に答えてくれました。仲の良いクラスで、楽しい会話をしながらの活動で、とても印象に残りました。機会があれば、違うクラスのメンバーと違うコースでの取材に行ってみたいです。



【水分小学校(平成18年7月登録)】

田主丸町にある水分小学校は「地域に貢献できるボランティア」として通学路の清掃ボランティアを行っています。各学期に2回ずつ年6回、朝の通学の時間に、集団登校のグループ毎に家庭から用意したレジ袋をごみ袋として清掃活動しています。学校に着くと、可燃収集担当と資源物収集担当に分かれてごみを分別し、ボランティア袋に入れなおして作業が終了となります。

活動当初は、ポイ捨てごみがとても多く、ボランティア袋の使用枚数も多かったということですが、最近は使用する袋数が少なくなり、効果が表れているそうです。



【**荘島小学校(平成18年11月登録)**】

荘島町にある荘島小学校は学校周辺道路を毎週木曜日、5、6年生の各40人が週に一度、交代で清掃活動を行っています。

ボランティアの一環として約6年前に始めたそうですが、最近、クリーンパートナー制度を偶然知り、今回登録に至ったとのこと。当日は5年生の活動取材を行いました。生徒たちは、「活動でゴミが減っている」「近所の方に、ありがとうと言われてとてもうれしい」という意見がある一方、「犬のフンが多く、処理が大変」といった悩みも話しました。

しかし、多くの生徒たちが、活動によるポイ捨てゴミの減少を感じていました。



今回小学校では2校を紹介いたしましたが、都合が合わず取材ができなかった「三瀧小学校」を含めた3校が登録しています。

小学校のクリーンパートナーは「環境教育の一貫」として活動しているようです。

水分小の取材は、1月のとても寒い時期でした。そんな中、子どもたちは、溝の中に入ってまでポイ捨てゴミを収集していました。子どもたちの活動を見ていると「効果が表れている」という先生の話はとても説得力のある言葉に感じました。集めたゴミは先生も一緒に分別し、子どもたちと先生が一体となっていました。これからも自分達の通学路は自分たちで美しくをモットーにがんばってください！

また、荘島小の生徒たちは全員クリーンパートナーの帽子を着用し、熱心に活動を行っていました。荘島小学校のように、長年、清掃ボランティア活動を行っているにもかかわらず、制度を知らないという学校も多いかと思われます。皆さんの活動が、クリーンパートナーの輪をより一層大きなものにしていくと思います。



➤ クリーンパートナー専用ごみ袋利用者へお知らせ ❹

クリーンパートナー専用ごみ袋につきましては、市民の皆さんは一般家庭排出の集積所へ、企業等で登録した集積所がない団体は、事務局が指定した集積所へ排出することになっています。最近、クリーンパートナー専用ごみ袋の排出に関して、集積所のルールが守られていないとの苦情が数件ありました。収集したごみ袋は一度持ち帰り校区指定日と指定時間を守って排出してください。よろしくをお願いします。

➤ 編集後記 ❹

本誌発行以来3年が終わろうとしています。会員の皆様より暖かい励ましや貴重なご意見等をいただき、事務局一同大変感謝いたしております。

「自分のためにごみ拾いをしている」人、「グループのコミュニケーションの手段として活動している」人、「地域への貢献のために活動している」人……動機は色々あると思いますが、「自分の住んでいるまちをきれいにしたい」というのは同じだと思います。これからも「自分にできること」を続けていただき、活動の輪を広げていただきたいと思います。

来年度も美しいまちづくりをめざして、皆さんと一緒にがんばっていききたいと思います。

このニュースレターは、くるめクリーンパートナー事業や、環境美化活動に参加している皆さんの情報交換や交流の場などになることをめざしています。

今後のニュースレターでは、皆さんの活動状況や活動に対する思いなどを紹介していきたいと思っています。

ご意見、ご要望、情報などをお寄せいただくことで、より良い紙面づくりをしていきたいと思っていますのでご協力をお願いします。



発行元：久留米市環境部環境政策推進課

〒830-8520 久留米市城南町15-3

Tel：0942-30-9146

Fax：0942-30-9715

e-mail：kansei@city.kurume.fukuoka.jp